

多くの人がいる施設では 人命第一の災害対策

市の防災計画に沿った独自のマニュアルを作成

戸田市文化スポーツ財団は市の公共施設を管理運営しています。

今回ラップオンを導入された戸田市文化会館・戸田市スポーツセンター・戸田市新曽南多世代交流館では市の避難場所にも指定されている施設もあるため、基本的には市の防災計画にそって災害対策を行っています。市の防災担当者と打ち合わせをして市の計画に沿いながらも独自のマニュアルを作成しています。その中でラップオンの導入も決まりました。

災害対策では、まずは人命第一を考えています。施設の利用者、お立ち寄り頂いている市民の皆様、スタッフ、職員、委託関係の業者、数多くの人々が毎日、ほぼ全日にわたって利用したり、働いていますので、人命第一ということで独自のマニュアルをつくって災害対策をしています。

衛生面、プライバシーの面も非常に良い

災害後、災害用トイレの衛生面の問題やプライバシーの問題があり、災害用トイレがあるのに使えないという報道を見かけました。生活を通常の状態に戻す・復旧させるにあたり、トイレの衛生面をどう対策するか部署内で話し合いました。心理的な抵抗や衛生的な抵抗で使えないというものも実際に見て、心情として理解できました。そんな中でラップオンのデモンストレーションを見て、衛生面もプライバシーの面でも非常によく造られていると感じた事が導入の一つのきっかけでした。



デモンストレーションの様子

Interview

公益財団法人
戸田市文化スポーツ財団
事務局 総務課係長
進藤 秀和 様



公益財団法人 戸田市文化スポーツ財団

主たる事務所：埼玉県戸田市上戸田4丁目8番1号

設立：昭和55年4月1日

この法人は、市民文化の向上と福祉の増進を図るとともに、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図るため、文化・芸術及びスポーツの振興に関する事業を行い、もって健康で文化的な市民生活の向上と地域コミュニティの発展に寄与することを目的とする。